

SOMPOリスクアマネジメント  
 上席コンサルタント 横山 天宗氏

低炭素社会への移行が迫られているなか、温暖化ガス排出につながる化石燃料産業への投融资からの撤退（ダイベスメント）が欧米で関心を集めている。この背景には、温暖化ガスの排出規制強化に伴って温暖化ガスを多く排出する石炭発電設備等を稼働することが困難になり、化石燃料関連の資産価値が毀損するのではという一部の機関投資家間での懸念がある。

気候変動問題が投融资活動に影響を及ぼしつつあるなか、20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議は、国際金融に関する監督等の役割を担う金融安定理事会（FSB）に対し、気候変動問題が金融セクターに及ぼす影響について検討す

## 気候変動、リスクと機会

気候変動に関するリスクや機会の例

移行リスク	機会
温暖化ガス排出規制強化／ 資産価値の低下など	低炭素商品・サービス ・技術への需要増加／ 炭素市場等の新たな市場への参加など
物理リスク	
洪水等の異常気象の増大／ 海水面の上昇など	

るよう要請した。要請を受けたFSBは、2015年12月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」を設置した。

TCFDでは、気候変動がもたらすリスクや機会の財務的影響について企業が把握し開示するこ

とを促すため、情報開示に関する任意のガイダンスの策定を進めている。同ガイダンスでは、気候に関連するリスク、機会がもたらす事業や財務への影響、リスクや機会をモニタリングする組織体制等の開示を企業に求めている。

気候変動は、様々なリスクや機会を企業にもたらす。リスクとしては「移行リスク」や「物理リスク」等がある。「移行リスク」には、低炭素社会への移行に伴う温暖化ガス排出規制強化や温暖化ガス排出につながる資産価値の低下等が挙げられる。また、「物理リスク」には、

洪水等の異常気象の増大による自社の工場やサプライチェーン等への影響等がある。

一方、機会としては、低炭素商品・サービス・技術への需要増加や炭素市場等の新たな市場への参加等が挙げられる。

気候変動は企業に様々な側面から影響を及ぼす可能性があるため、企業は気候変動のリスクや機会を洗い出し、その影響を分析することが重要である。文部科学省では、気候変動適応技術社会実装プログラム（SIIC-AT）を通じて、気候変動予測ツールを開発し、将来の日本全国の洪水等に関する情報を発信しようとして取り組んでいる。

今後、こうしたツールを積極的に活用し、気候変動のリスクや機会への評価を深めていくことが、企業に期待されている。